

金賞

ワイヤロープ交換作業の安全性向上と工数短縮（1人化）治具

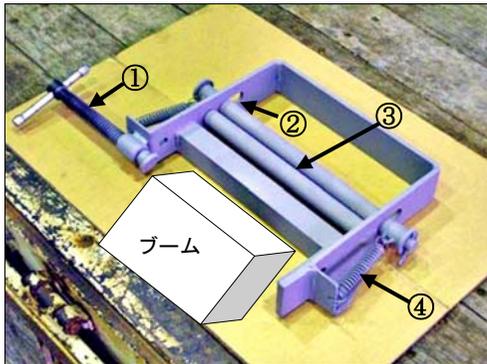
[新潟県支部] コマツ建機販売（株）新潟カンパニー 安田営業所 八木 和彦

【考案の動機】

ワイヤロープに張力を与えながら乱巻き補正作業を2人で実施していましたが、巻き込まれの不安や乱巻きの発生が有り、効率が悪いので改善を考えました。

【考案の内容】

二本のローラーパイプの片方はスプリングで引っ張られ、ワイヤードラムへのロープ巻きに時に適度な張力を与えながら（緩まない）巻くことができます。ワイヤロープはパイプに沿って左右に自由に動くため、乱巻きは発生せず、1人で安全確実に巻取り作業ができます。治具はブームの任意の箇所短時間で装着できます。（写真○印が取付け位置）



- ① 廃材のシャコ万のスクリュー（手で締めるだけで十分）
- ② 各種ワイヤロープの径（太さ）に対応出来る様にローラーを取付けている箇所は長穴。（左右）
- ③ この2本のローラー（パイプの中にシャフトを通した物）の間にワイヤロープを通す。ローラーは自由に回転する。ローラー内でワイヤロープの左右の振れは自由。（乱巻きせず巻き取り可能）
- ④ このスプリングでワイヤロープを挟み込み、テンションを与える（ワイヤロープは変形しない力）。（左右に装着）

【考案の効果】

1人で安全確実に半分以下の工数になり、周りに人がいないので安心して作業ができるようになりました。